

## 新理事長就任のごあいさつ

このたび気象業務支援センター理事長に就任しました羽鳥光彦です。

微力ではございますが、土井新会長のご指導のもと、当センターが気象庁と民間との橋渡しの役割を十分に果たし、我が国の気象業務の発展に貢献したいと思います。

センターの業務運営につきましては気象業務法に基づく業務を中核として、引き続きその責任を的確・確実に遂行する必要があります。当該業務は、気象庁と民間との橋渡しする実務機関としての役割を果たすものであり、民間における予報や観測の成果等の気象情報、つまりは広く社会・国民へのサービスの質と信頼性を確保するため必要不可欠です。

このような中、センター設立後 20 年を経過し、社会等の環境も大きく変化してきております。前任の気象庁長官等の経験も十分に活かして、時代に適合するよう、これまで以上に気象庁や民間事業者等との連携・協力を強化し、業務の改善と健全な運営に努めたいと考えています。

いずれにしましても、引き続き当センターの業務へのご理解とご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

